



五つの同じ高山右近像（西森正昭 作）

高槻城跡（しろあと）公園



この右近像の所に、これまで何回行ったことでしょうか。

初日の出は、毎年ここで、右近さんと共に迎えています。すぐそばに屋根のついた休憩所があって、そこに座って右近像を見ながら、祈ったり、リコーダーを吹いたり、右近俳句を作ったりしてきました。写真も、春夏秋冬、随分撮ってきましたよ。

作者の西森正（方）昭さんは

昭和14年10月17日生、大阪市出身

37年金沢美大卒

38年京都芸術大学彫刻専攻科卒

日本の美術家協会、亜美の会、

具現美術協会の各会員

この高山右近像は、1972年（昭47年）、「国際ロータリー366地区年次大会」記念に制作されたものです。当時、西森さんは高槻市真上（まかみ）町に住んでおられました。

（現在は、大分県湯布院在住）



マニラの比日友好公園

炎昼の 親しき民や 右近像

旧日本人居留地（ディラオ）のパコ駅前広場に、1978年に高山右近像が建てられました。マニラは、高山右近が、日本を追放されて、1615年2月3日に召天した町です。マニラ市と高槻市は、姉妹都市になっています。

高山右近像建立の、最初の提案をされたマニラ市の「環境美化婦人会」の皆さん他、フィリピン・日本の多くの方々の協力によって、困難な課題をのりこえながら、比日両国の友好のしるしとして、完成していきました。



高岡古城公園

高岡城の入口、大手口に、3つめの高山右近像が建てられています。1982年（昭57）に建てられました。

高岡城は、前田家二代・利長の命で、築城の名手・高山右近が一から縄張りをした唯一の城です。

高槻城や明石・船上(ふなげ)城は、すでにあったものに手を加えて強固にしていたものでしたし、今では、濠さえも残ってはいりません。しかし、ここ高岡城は、濠もそのまま残されていますので、高山右近の手のあとと息吹きを、今も感じることができるんですよ。



志賀町・高山右近記念公園

金沢時代の高山右近の知行地は、能登の地にありましたが、羽咋郡志賀町末吉に、右近の長男・十次郎の子孫と思われる高山豊次さんがおられます。

その豊次さんが施主となって、1999年（平成11）、末吉淵端橋のそばに「高山右近像」が建立されました。

「高山右近記念公園」は、「高山右近をしのぶ会・志賀」の会員の皆さんが、清掃などを行ったりして、いつもきれいにしてくださっています。志賀町も「右近の里」と言った感じですよ。



カトリック小豆島教会

この「高山右近像」が、最も右近さんらしく、流浪の旅を続け、そして、落ちつくべき所に落ちついた像でした。

この像はもともと、「高槻かまぶろ温泉」にあったものですが、経営不振で廃業され、寄贈され、カトリック大阪大司教館（西宮・甲陽園）に設置されました。（1990年）

5年後の1995年に阪神淡路大震災があり、大阪大司教館を大阪・玉造に移動し、併せて、右近像も移設されました。

2007年、駐車場の拡張の必要から、右近像も移転先を捜していましたが、高山右近潜伏の地である小豆島に移されることになり、高岡に運ばれて、竹中製作所で化粧直しがなされ、小豆島に移送、設置され7月1日に祝別式がもたれました。